白内障

はじめに

高齢化社会が進む日本で白内障は増加している身近な眼科の病気です。すでに手術を受けた方も白内障ではないかと心配な方も白内障について確認してみてください。

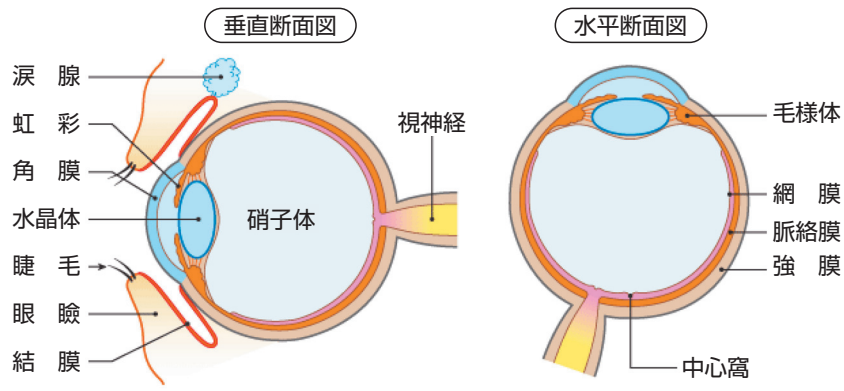
白内障とは

人の目は、よくカメラにたとえられます。（下図）レンズに相当する部分が水晶体です。

正常な水晶体は透明で、光をよく通します。しかし、さまざまな原因で水晶体の中身のタンパク質が変性して、濁ってきます。これが「白内障」です。

水晶体が濁ると、光がうまく通過できなくなったり、光が乱反射して網膜に鮮明な像が結べなくなり、視力が低下します。

目の構造



眼の構造と働き　出典：参天製薬ホームページ

白内障の原因

最も多いのは加齢によるもので、「加齢性白内障」と呼ばれています。個人差がありますが、だれでも年を取るにつれ、水晶体は濁ってきます。加齢性白内障は一種の老化現象ですから、高齢の人ほど多く発症します。

最近は、アトピー性皮膚炎や糖尿病などの合併症として、若い人の発症が増えています。

白内障の症状

水晶体の濁り方はひとりひとり違うため、症状はさまざまです。

1．かすんで見える
2．まぶしくなる・明るいところで見えにくい
3．一時的に近くがみえやすくなる・眼鏡が合わなくなる
4．二重・三重に見える

白内障の治療と手術

日常生活に支障がない程度であれば、点眼薬で白内障の進行を遅らせます。しかし、薬剤は症状を改善したり、視力を回復させることはできません。

白内障が進行して、日常生活に不自由を感じるようであれば、手術を行います。

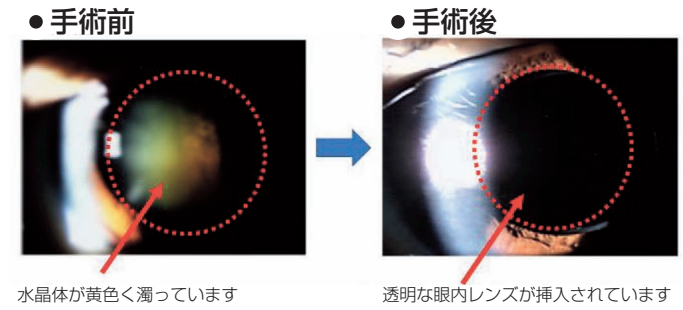
こんなときは手術を考えましょう。

1．視力が低下して仕事に支障がある
2．外ではまぶしくて、極端に見えづらい
3．運転免許の更新ができない

白内障の手術

現在、白内障手術は主に、濁った水晶体を超音波で砕いて取り出し（超音波乳化吸引術）、人工のレンズ（眼内レンズ）を入れるという方法で行われています。局所麻酔で行われます。北里大学病院で白内障手術を受けられる患者様の平均年齢は71歳です。手術を受けるのに年齢制限はありません。担当医師とよく相談してください。

白内障手術前後の写真

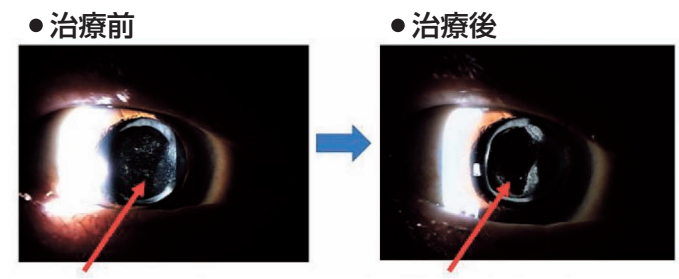


後発白内障のレーザー治療

白内障手術後、数か月から数年して、また「まぶしくなる」「目がかすむ」ことがあります。これは、後発白内障といわれるもので、手術の際に残しておいた水晶体の入っていた袋が濁ってくるために起こります。

レーザーを使って簡単に濁りを取ることができます。視力はすぐに回復し、入院の必要もありません。

後発白内障のレーザー治療



おわりに

情報の80%は、目から入ってくると言われています。人生100年時代が到来し、見えることは、生活の質を維持するうえで大変重要です。来年は東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。４Ｋテレビに買い替えようか、眼鏡を作り直そうかと考えているお年頃の皆さま、まずは眼科受診をお勧めします。

（相模原市医師会　天野（あまの）　理恵（りえ））

※次回発行　令和元年７月１日　掲載テーマは「こころの病気について」、「熱中症対策」の予定です。